



平成29年度 八幡市当初予算案の概要

市制施行40周年

～未来に向かって八幡市が持つ資源を最大限
に活用した新しい価値の創生～





予算編成の基本的考え方

【現状基本認識】

財政構造硬直化の進捗

(市税収入の減⇔社会保障関係経費の増)

今後の財政需要の拡大

(子育て支援・教育施策の充実、庁舎等の耐震・老朽化対策を始めとした防災・減災対策の推進)

【H29予算編成に際しての基本的考え方】

- 今後の重要課題に的確に対応できる、足腰の強い行財政構造の確立
- 限られた経営資源を効果的・効率的に投資するため、集中と選択、事業の優先順位の厳格化

【重点施策の展開】

1. 「子どもが輝く未来」、2. 「健幸都市」、3. 「文化と暮らし」、4. 「共生」、5. 「活力」、6. 「安心・安全」

【行財政改革の取組】

1. 第6次行財政改革実施計画の完遂
2. 事業のスクラップ&ビルドの推進
3. 国の地方創生予算等財源の確保



予算規模

～事業の選択と集中により、限られた財源を重点分野に集中投資～

- 大型投資事業が一定終了したことや重点分野への集中投資により、歳出規模を抑制
- 国の地方創生関連予算などの特定財源を積極的に確保
- 財政調整基金・公共施設等整備基金の取り崩しを抑制
- H29末地方債現在高が9年ぶりに減少

持続可能な財政運営に留意

➤ 一般会計 249億6千万円

(対前年度当初比 93.5% (H28.6月補正後対比 88.3%))

※地方財政計画100.6% (水準超経費除く)

➤ 特別会計 168億1千万円

➤ 事業会計 52億9千万円

全会計合計 470億6千万円

(単位：千円、%)

会 計 名	平成29年度予算額	平成28年度予算額 増減率		
		当 初	平成28年 6月補正後	
一 般 会 計	24,960,000	△ 6.5	△ 11.7	
特 別 会 計	休日応急診療所会計	38,400	1.6	1.6
	駐 車 場 会 計	13,400	△ 3.6	△ 3.6
	国民健康保険会計	9,803,500	△ 7.1	△ 7.1
	介 護 保 険 会 計	5,445,000	7.3	7.1
	後期高齢者医療会計	1,506,200	4.1	4.1
	合 計	16,806,500	△ 1.9	△ 1.9
水 道 事 業 会 計	2,292,061	19.4	6.3	
下 水 道 事 業 会 計	2,997,481	17.6	△ 15.0	
総 計	47,056,042	△ 2.6	△ 7.9	



施政方針の概要

【市政運営基本方針6つの重点分野】

— 市民協働を基本に創意工夫で八幡の未来を切り拓く —

■「子どもが輝く未来のまちづくり」

～八幡の宝・未来を担う子どもたちの輝きを応援

■「健康」で「幸せ」を感じる「健幸」のまちづくり

～健康で幸せを実感できるスマートウェルネスシティの推進

■「文化と暮らしのまちづくり」

～歴史と文化が織りなす「観幸／出逢いのまち やわた」

■「互いに支えあい共生できるまちづくり」

～誰もがいきいきと輝ける地域社会の構築

■「活力がありつづけるまちづくり」

～八幡のポテンシャルを最大限に生かした事業展開

■安心・安全・快適なまちづくり

～市民の生命・財産を守り、持続可能なまちづくりをさらに推進



「子どもが輝く未来のまちづくり」



~八幡の宝・未来を担う子どもたちの輝きを応援~

事業費 467百万円 (H28補正予算含む)

- 安心して出産できるよう産前・産後のサポート、子どもの発達段階に応じた健診の充実等の育児を強化
5事業 12百万円
(ex.産前・産後ヘルパー派遣、1歳8カ月児健診、児童発達支援事業初度調弁費助成 等)
- 放課後児童クラブの時間延長など子育て世帯やひとり親家庭への支援を充実
7事業 18百万円
(ex.放課後児童クラブ開設時間延長、子育てサークル助成 等)
- 中学校給食開始、スタディサポートの充実など教育環境を整備
7事業 437百万円
(ex.中学校給食開始、スタディサポート、子ども会議提案の事業化 等)



「『健幸』のまちづくり」



健康で幸せを実感できるスマートウェルネスシティの推進

事業費 225百万円

■市民のライフスタイルに合った健康づくりを応援

6事業 24百万円

(ex. やわたヘルスプロモーション推進(健幸アンバサダー養成)、ウォーキング推進 等)

■検診事業の受診率のさらなる向上、介護予防等健康寿命の延伸を目指す

8事業 182百万円

(ex. 乳がん検診の管外受診開始、見守り支援・閉じこもり予防 等)

■自然と出歩きたくなるまちづくりの推進

3事業 19百万円

(ex. 大谷川公園人道橋・東屋整備、散策道補修 等)

■広域化を踏まえた国民健康保険事業経営の改善

平成30年度からの広域化を踏まえた収支改善に取り組んだ結果、赤字体質から脱却し、持続可能な事業展開が可能



「文化と暮らしのまちづくり」



歴史と文化が織りなす「観幸／出逢いのまち やわた」

事業費 66百万円

■文化と歴史に満ちた八幡の「財産」を磨き上げ

4事業 31百万円

(ex. 徒然草文学賞創設、松花堂・書院庭園保存計画策定、歴史文化物語コンテンツ作成 等)

■京都府と連携したお茶の京都ターゲットイヤーを成功させ、「茶文化」を「地域文化」に

5事業 25百万円

(ex. 松花堂・四季彩館での茶会・茶香服、「CHAZZフェスティバル(仮称)」、中学生のお茶体験 等)

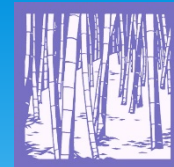
■観光資源の発信と活用を促進し、地域の「稼ぐ力」を創出

8事業 10百万円

(ex. 観光案内用道路案内表示整備、広域観光PR 等)



「共生できるまちづくり」



誰もがいきいきと輝ける地域社会の構築

事業費 316百万円

■ 支えあい、自分らしく、男女がともに輝ける地域社会の構築

6事業 17百万円

(ex. 山城人権フェスタ・やわた男女共同参画フェスティバル開催、障がい者計画等策定、地域生活支援拠点 等)

■ 地域のつながりを再生し、地域の活性化を取り戻す

5事業 51百万円

(ex. 民生委員制度創設100周年記念事業、男山地域再生・地域包括ケア事業助成 等)

■ 臨時福祉給付金(経済対策分)の給付 248百万円



「活力がありつづけるまちづくり」



八幡のポテンシャルを最大限に生かした事業展開

事業費 167百万円

■新たな価値創造への土台づくり

3事業 16百万円

(ex.市街地整備計画策定、都市計画マスタープラン改定 等)

■新名神高速道路城陽・八幡間開通等を活かした地域活力を支える産業基盤の整備

5事業 140百万円

(ex.府道八幡インター線整備、二階堂川口線バイパス事業 等)

■八幡での創業・小規模企業者支援、市内消費の活性化

3事業 5百万円

(ex.融資保証料等補給金の拡充、プレミアム商品券発行助成 等)

■収益性・生産性の高い都市近郊農業と地産地消の推進

3事業 6百万円

(ex.中学校給食への利用促進、さくらであい館農産物直売支援 等)



「安心・安全・快適なまちづくり」



市民の生命・財産を守り、持続可能なまちづくりをさらに推進

事業費 1,375百万円

■災害時の拠点確保、「もしものとき」への備えを実施

6事業 16百万円

(ex.新庁舎整備を検討、京都府総合防災訓練実施、マイ防災マップ作成 等)

■防犯・防災機能の強化

4事業 449百万円

(ex.防犯カメラ整備、雨水貯留施設整備、消防団・女性防火推進隊活動支援 等)

■安心・安全により配慮したまちづくり

3事業 16百万円

(ex.交通安全施設整備(「ゾーン30」の設定)、街路灯LED化 等)

■快適な暮らしの確保

7事業 894百万円

(ex.小型家電リサイクル回収、上下水道施設の更新 等)

■持続的な安心・安全なまちづくりを支える行財政運営

(ex.長期債の繰上償還の実施 (H28.2月補正))



市制施行40周年記念事業



新時代を見据えた伝統の継承と交流の拡大

▶ 平成29年11月1日に市制施行40周年を迎えることから、各種記念事業を展開
29百万円

主な記念事業

予定日	場 所	内 容
8月上旬	淀川河川公園・背割堤地区、さくらであい館	背割堤七夕まつり開催 友好都市マイラン村スカイプ交流、竹灯籠設置等
11月1日	文化センター	記念式典開催、有功者・自治功労者・篤志者表彰、友好都市交流 等
11月	市民スポーツ公園	消防団市長査閲
6月以降 随時	文化センター 他	佐藤康光杯将棋大会、市民文化祭及び同記念事業、市民マラソン 等



地方創生関連予算



「観幸／出逢いのまち やわた」

事業費 62百万円

- 「お茶のある幸せの風景」の創出(お茶の京都博関連) 46百万円
 - ・お茶とジャズコンサートのコラボイベント(石清水八幡宮CHAZZフェスティバル)
 - ・お茶と七夕まつりのコラボイベント(淀川三川交流事業)
 - ・松花堂・四季彩館を活かした茶会
 - ・中学生茶事体験
 - ・松花堂庭園・梅隠屋根葺き替え及び梅隠修繕
 - ・名勝松花堂及び書院庭園保存活用計画策定
 - ・お茶の京都博実行委員会負担金、お茶の京都DMO負担金 等
- 「歴史と文化と自然が織りなす出逢いの物語」の創出 16百万円
 - ・歴史文化物語コンテンツ作成・啓発事業
 - ・徒然草文学賞表彰



行財政改革の取組

当初予算編成での対応

~新しい行政ニーズに対応するため事業の再構築を促進~

■事業採択の優先順位の厳格化、行政コストの削減を推進

36事業 149百万円(一般財源ベース)

(ex.市民活動情報サイトの運用見直し、街路灯LED推進、国保財政の改善 等)

■生み出した財源を時代のニーズに即した新規・拡充施策に充当

55事業 255百万円(一般財源ベース:146百万円)

(ex.地方創生・「お茶の京都」関連事業、中学校給食開始、放課後児童クラブ開設時間延長 等)

H29の取組

~第6次行財政改革の完遂~

■平成27年度からの3か年計画の最終年度として、計画数値目標の完遂を目指す

52項目 約9.6億円(H27実績4.0億円、H28実績見込2.8億円)

H30以降

~新総合計画の施策展開を可能とする足腰の強い行財政構造の確立~ 12